

平成22年度学校非公式サイト監視・調査研究事業の運用開始について

1 事業の目的・概要

- 平成20年3月に文部科学省から発表された「青少年が利用する学校非公式サイトに関する調査報告書」では、全国で約38,000件の学校非公式サイトが存在し、個人に対する誹謗・中傷などの有害な内容の書き込みのあるものが多数あることが確認されている。
さらに、県内でも、「平成20年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」において、いじめに遭った態様として「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされた」と回答した高校生は全体の3割を占めていることから、その対策が急務となっている。
- 子どもたちが利用するサイトについて、教職員がネット上の巡回等を行うことは、担当者の負担が大きく、本来の学校教育活動に影響を与えることが懸念される。
そこで、県教育委員会が専門の業者に「学校非公式サイト等」の検索・調査・削除代行等の業務を委託するとともに、学校が問題のある書き込みなどに適切に対応出来るよう、具体的事案に対する助言や資料提供などを行うこととした。
- 児童生徒の生命に関わる事案など、緊急性の高い書き込み情報の発見の際には、奈良県警察と連携して対応する。

※「学校非公式サイト等」の定義

ここでいう「学校非公式サイト等」とは、県内学校等が運営する公式サイトとは無関係でありながら、学校名や学校の略称等が表記され、また、公式サイトとリンクされていない公開されたサイトで、県内学校等の生徒に関する投稿（書き込み）のあるサイトをいう。同じドメイン内に複数のページが存在する場合は、それぞれのURLを「学校非公式サイト等」とする。
また、無料掲示板やプロフ・ブログ・SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）など新しく問題となるものや公開されているサイト全てを含むものとする。

2 対象校

奈良県内の公立中・高等学校142校

3 調査期間

平成22年9月1日～平成23年3月31日まで

4 業務委託業者

(株)ガイアックス（東京都品川区）

5 検索及び問題のある書き込みを発見した時の対応等

(1) 検索

各学校の関連キーワードを用い、パソコン及び携帯電話により、インターネット上に開設されている「学校非公式サイト等」の検索を行い、問題のある書き込みを抽出し、下記の分類表により危険度を判定する。

(2) 発見時の対応

抽出した問題のある書き込みのうち、危険度の高いもの（【要通報】・【要削除】）については、

- ・ 問題のある書き込みの削除依頼を行う。
- ・ 当該県立高等学校、市町村教育委員会に連絡するとともに、協働して対処する。
- ・ 【要通報】については、奈良県警察に連絡し、連携を図る。

(3) 学校等への報告

検索結果をまとめ、月ごとに各県立高等学校、市町村教育委員会に情報提供する。

【危険度分類表】

リスクレベル	内 容
【要通報】 危険度（高）	自殺や殺人などの犯罪予告など、生徒の生命及び身体を脅かす恐れのある緊急性の高い内容のもの。
【要削除】 危険度（中A）	実名での誹謗中傷など今後いじめにつながる恐れのある行為やネットに公開する上で明らかに不適切な写真、交際を求めるなど、個人が特定出来る内容であり、かつ、緊急性はないものの早期の指導・対応等が望ましいもの。
【要注意】 危険度（中B）	イニシャルでの誹謗中傷など今後いじめにつながる恐れのある行為やネットに公開する上で明らかに不適切な写真、交際を求めるなど、個人が特定出来る内容ではないものの早期の指導・対応等が望ましいもの。
【問題なし】 危険度（低）	生徒が不安や悩み、怒りを吐露するなど、緊急性はないが、必要に応じて適切な指導・対応等が望ましいもの。